

はな みず き 花 水 木

令和6年度は、「花と緑のフェスタ」や「園芸教室」「ちとせオープンガーデン」などの事業を開催し、皆さまにご参加いただいて緑豊かで潤いのあるまちづくりに取り組んでまいりました。

新年度も引き続き、市民の皆さまが花や緑について学び、楽しんでいただける事業の開催に努めてまいります。

親子であそぼう！

青葉公園自然観察・体験会を開催します！

令和6年度は、6月に青葉公園自然観察・体験会を開催し、親子で楽しく宝探し・虫の観察・イタドリで笛づくりを行い、青葉公園の自然とふれあい知識を深めました。

新年度は、8月に開催します。青葉公園の貴重な自然の中で楽しい発見とのびのびとした時間を体験してみませんか。



- 花と緑のフェスタ 2
- メモリアルツリープレゼント 2
- ちとせオープンガーデン 3
- 花めぐり見学会 3
- 園芸教室・講習会
花と緑の講演会 4
- 自然とのふれあい教室 4
- 花いっぱいコンクール 5
- 花と緑の写真コンテスト 6
- 花と緑の絵コンクール 7
- 都市緑化振興事業の紹介 8
- 水と緑のふれあい基金 8

写真：令和6年度青葉公園自然観察・体験会



花と緑のフェスタ



花と緑のフェスタは、市民の皆さまと緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する都市緑化振興事業の一大イベントで、令和6年度は、5月17日から19日までの3日間、グリーンベルト「幸町おまつり広場」で開催し、期間中は延べ9,772人のご来場をいただきました。

会場内には20店舗が出店し「花マルシェ」では春を彩る色鮮やかな花苗や野菜の苗を販売し、「食マルシェ」のキッチンカーは食べ物を求める市民でにぎわいました。初日は曇り空でしたが、アリス

認定こども園の園児が元気いっぱいに和太鼓を演奏し、オープニングを飾りました。ステージでは市長を招いてメモリアルツリー贈呈式、キッズダンスの発表、公開園芸講座や会場に飾っている寄せ植えを来場者にプレゼントする無料抽選会などを開催しました。

他にも、ヤマセミなど千歳ならではのスタンプを探して会場をめぐるスタンプラリーや、SDGsに配慮した土に還るポットにヒマワリの種を植えるワークショップを大人も子どもも楽しみ、また、花苗のプレゼントや花苗等の購入割引券を配布する時間帯には長い行列ができました。

▼第58回 花と緑のフェスタを開催します！

令和7年度の花と緑のフェスタは5月17日(土)と18日(日)の2日間、同会場で開催します。

期間中は、花苗プレゼント、花苗等の購入割引券配布、メモリアルツリー贈呈式等のイベントを予定しています。また、花苗や野菜苗等を安価に販売する「花マルシェ」千歳産の新鮮な野菜を販売する「野菜マルシェ」キッチンカーや屋台等がならぶ「食マルシェ」を行う予定です。

千歳市の春を迎えるイベントのひとつとして、皆さまのご来場をお待ちしております。



メモリアルツリープレゼント

財団では、出生・入学・結婚・自宅購入・還暦の慶事を迎えた千歳市民の皆さまに記念樹を贈呈しています。令和6年度は、人生の節目となる慶事を迎えた198名に贈呈しました。



メモリアルツリーは、9種類の樹種からお選びいただけます。

千歳市の花として昭和61年に制定された、ツツジやハナショウブは、千歳市の風土に適した植物でお庭ですくすく育ちます。

メモリアルツリープレゼントの詳細は、財団ホームページや広報ちとせ4月号等でお知らせします。



ちとせオープンガーデン

平成30年度（2018年）から個人庭園のオーナーのご協力により、丹精込めたお庭を市民の皆さまに公開していただき、人と人との交流を通して「花と緑のある美しい街づくり」をすすめています。

令和6年度は、3名の庭主さまが新規に公開してくださいました。



荒井邸/東郊
～手塩にかけた癒しのお庭～



宮腰邸/白樺
～四季咲きのバラにかこまれる庭～



本間邸/みどり台南
～季節の小花にかこまれて楽しむ庭～

令和6年6月から9月まで開催した「ちとせオープンガーデン2024」は、19庭園が公開し、訪問者数は延べ2,237人となりました。

ちとせオープンガーデン Guide Book 2024

財団に登録している市内の庭園（オープンガーデン）の公開日や地図などを掲載したガイドブックを無料で配布しています。

※ 2025年版は6月に発行予定です。



動画は「YouTube」で「ちとせ環境と緑の財団」を検索



花めぐり見学会（ガーデンバスツアー）

市内の素敵なオープンガーデン訪ねてみませんか？

参加無料/千歳市民/要予約

6月から7月に、財団に登録されている個人庭園（オープンガーデン）や花いっぱいコンクールの参加花壇等をバスでめぐり花めぐり見学会を開催します。ぜひご家族・ご友人を誘ってご参加ください。



園芸教室・講習会

寄せ植えやプリザーブドフラワー、生の植物を使ったリース作りなどを通して、技術や植栽管理などを学ぶ「園芸教室」、
「花と野菜の学校」、「講習会」を毎年実施しています。
令和7年度も魅力的で内容の充実した事業を計画して、ご参加お待ちしております。親子参加も大歓迎です！

春のガーデニング講習会～四季を通じて楽しい庭づくり～



<令和6年3月16日>
ガーデンライフアドバイザーの内倉真裕美氏を講師としてお迎えし、ガーデニングの基礎や、四季を通じて庭づくりを楽しむコツを学びました。

観葉植物で素敵な寄せ植えを作りましょう



<令和6年11月9日>
赤色の苞が鮮やかなアンズリウムや立体感のあるつる植物のアイビーなどの観葉植物を使っておとなっぽい雰囲気寄せ植えを作りました。

ミニトマトとハーブの寄せ植えを楽しみましょう



<令和6年6月16日>
たくさん採れるミニトマトと、香り豊かなスイートバジル、小葱のように使える紫の花のチャイブを使って食べられる寄せ植えを作りました。

赤い実がかわいい和モダンのミニ盆栽



<令和6年12月14日>
古典落語「寿限無」に登場する縁起の良い吉祥木、ヤブコウジを手のひらサイズのミニ盆栽に仕立てました。

親子でハロウィン工作かぼちゃのランタンを作ろう！



<令和6年10月12日>
千歳産のかぼちゃに思い思いの顔を描き、くり抜いて、親子で楽しくLEDで光るジャック・オー・ランタンを作りました。

春を待つ黄色い花束～ミモザとワイルドフラワーのスワッグ～



<令和7年1月18日>
黄色い花がふわふわなミモザと、ユニークな形が楽しいワイルドフラワーを使って、春が待ち遠しくなるスワッグを作りました。

花と緑の講演会



眞鍋 憲太郎さん講演会 「眞鍋庭園・緑の魅力と癒しのガーデニング」

当財団では「身近な花や緑への関心を高め、住宅地の緑化を図る」ことを目的として、花と緑の講演会を開催しています。
令和6年2月17日に北ガス文化ホールで、講師に眞鍋庭園苗畑 代表である、眞鍋憲太郎氏を迎え、52名の市民の皆さんを前にお話いただきました。

北海道を代表する8つの観光庭園を結ぶ「北海道ガーデン街道」や樹木の美しい「眞鍋庭園の魅力」、「千歳の気候に適したガーデニング用樹木」などについて、美しい画像や楽しいクイズを交えて語りました。

参加者は、熱心に受講し「北海道ガーデン街道を巡ってみたい」、「眞鍋さんに自分の庭を見てもらい、指導してほしい」などの感想が聞かれました。

自然とのふれあい教室

巨木をめぐるウォークラリー

～6月から9月まで開催～

青葉公園の園路沿いにある推定樹齢200年を超えるハルニレ、コナラ、ミズナラ、カツラの巨木15本を自由にめぐります。
巨木には、樹種や樹齢が分かる「樹木プレート」を設置しており、そこに書かれているひらがなのキーワードを解答用紙に5個以上記入、財団事務所に提出すると、参加賞がもらえます。



青葉公園自然観察・体験会

青葉公園には、約360種類以上の草花や樹木が生息しているといわれています。青葉公園自然観察・体験会では、専門家の講師と、青葉公園内の草花の名称や植生、自然の大切さについて学びます。



花いっぱいコンクール

花と緑があふれるまちづくりの推進と緑化意識の高揚を図るため、市内の町内会、学校、福祉施設、事業所などの参加団体を募集して花苗を無償で配布し、審査により優秀な花壇を表彰しています。

令和6年度は191団体が参加し、各部門の最優秀賞の受賞団体等は次のとおりです。（敬称略、各賞は順不同）

最優秀賞・名誉花壇



【花壇部門 町内会の部】**名誉花壇**
あけぼの団地町内会
令和6年度認定

【講評】町内会館前にある花壇は、しっかり手入れが行き届き、定期的に植栽されて美しく大きく育っています。通行している人も立ち止まりたくなるような居心地の良い花壇となっています。



【花壇部門 幼稚園等の部】**名誉花壇**
あんじゅ認定こども園
令和6年度認定

【講評】園児たちのデザインした色鮮やかな花壇は、黄色のキンギョソウが目を引きます。どの花も生き生きとしており、華やかさと優しさが感じられ、周りの景観とマッチしています。



【花壇部門 小学校の部】
北進小中学校

【講評】児童玄関横のカラフルな花壇と、その向かいの開校54周年の花文字花壇の2種類の花壇を楽しむことができます。どちらの花壇も丁寧に管理されており、明るく感銘を受けます。



【花壇部門 中学校等の部】
日本航空大学校北海道

【講評】20個以上連なった色とりどりの花壇は、クラス毎に植栽され、個性があふれています。それぞれの花壇は管理も行き届いており、広いキャンパスで壮大な景観を作っています。



【花壇部門 福祉施設の部】
グループホーム幸福

【講評】地域の方と一体となり優しい心を育むことをテーマとした花壇は、手作りのコンテナも配置され心と和む空間となっています。植樹桝にも植栽し、道行く人々の目を楽しませています。



【花壇部門 福祉施設の部】
特別養護老人ホーム暢寿園

【講評】直線で大きく区切られメリハリの利いた花壇は、適切に管理されており花が元気に育っています。赤、黄色、橙色を主体としたダイナミックな色使いは、ハツラツとした印象です。



【フラワーロード部門】
ホンダカーズ札幌中央千歳店

【講評】明るく見えるようにたくさんの色を使った幾何学デザインの植栽は、色使いが独創的でとても印象に残ります。信号待ちをしている車からもよく見え、目が覚めるような美しさです。



【フラワーロード部門】**名誉花壇**
あずさ町内会
令和5年度認定



【ガーデン部門】**名誉花壇**
勇舞川を守る会
令和4年度認定



令和6年8月31日に、北ガス文化ホールにおいて「第37回花いっぱいコンクール」の表彰式を行いました。あけぼの団地町内会とあんじゅ認定こども園が、通算3回目の最優秀賞となり、令和6年から令和8年までの3年間、花いっぱいコンクールのモデル花壇として活動していただく「名誉花壇」に認定されました。財団からは「名誉花壇認定証」と「認定プレート」を贈呈しました。

花いっぱいコンクール

—— 名誉花壇とは？ ——

花いっぱいコンクールの各部門・各部で、連続3回または通算3回「最優秀賞」を受賞した団体を認定しています。認定期間（3年間）は、コンクールに「モデル花壇」として参加し、広報誌等で市民の皆さまに広くご紹介をさせていただきます。

※ 毎年4月上旬に参加団体を募集していますので、興味のある方や参加を希望される方はご連絡ください。

花と緑の写真コンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市民や市内に通勤・通学している方を対象に市内の花のある風景や、身近な花と緑に親しむ様子や関わる人々の様子などを題材とした写真を募集し、優秀な作品を表彰しています。

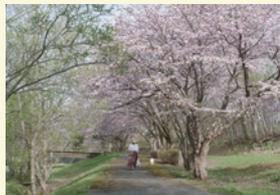
令和6年度は、61作品の応募があり、各部門のグランプリ・金賞・銀賞・銅賞の作品は次のとおりです。（各賞は順不同）

一般部門



グランプリ
「青空に囲まれて」
吉村 剛 さん

【講評】安定した構図の中で、青空と白い雲、赤いサルビア、オレンジのかぼちゃ、それぞれが美しく引き立っています。画面から抜け出るような色のバランスが素晴らしい作品です。



銀賞
「勇舞の森 散歩道」
須波 孝友 さん



銀賞
「やさしい秋の彩」
久保田 守 さん



金賞
「ピンクの舞」
吉田 憲作 さん

【講評】桜の花が舞う様子を確かな技術力で捉えています。地面に散った花びらのピンクと緑、花吹雪のコントラストが意図して撮影されており、美しさとはかなさを感じさせる作品です。

東千歳で真っ赤な花が美しかったので撮影した写真です。この写真コンテストには何度も応募していますが、グランプリが取れてとても嬉しいです。



銅賞
「写生する」
佐々木 保彦 さん



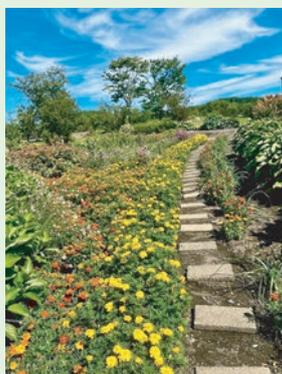
銅賞
「花の中からこんにちは」
佐藤 匠朗 さん



銅賞
「光が差しこむ所へ」
桃井 千夏 さん



銅賞
「おばちゃんの庭」
浅野 梨沙 さん



グランプリ
「青空と花」
箕浦 俊江 さん

【講評】彩とりどりの花畑を奥行きのある構図で表現しています。石畳の両脇で黄色やオレンジの花と緑が主役になりながら、青い空に続いていく先の物語を想像させる作品です。

スナップ部門

応募3回目でグランプリをとることができました。とても嬉しいです。これからは写真を撮影する活動にもっと力を入れてみたいと思います。



【表彰式の様子】



銅賞
「新緑」
木村 匠汰 さん



銅賞
「桜満開」
武藤 詩織 さん



銅賞
「陽光こぼれく千歳川沿いの薄」
佐藤 信一 さん



銀賞
「空と川のこのまじり」
濱田 香織 さん



銀賞
「青の移ろい」
富澤 菜那 さん



銅賞
「秋の夕ぐれ」
福田 悠人 さん



銅賞
「秋の支笏湖」
大西 道子 さん



金賞
「材料調達」
池田 蒔温 さん

【講評】ひまわりに止まる蜂の姿に思わずシャッターを切った様子が伝わってきます。青空がひまわりの輝かしさを強調しており、自然の営みと遭遇した感動の瞬間を捉えた作品です。

花と緑の絵コンクール

次代を担う子どもたちに花と緑に興味を持ち理解を深めていただくため、市内の小学4年生から6年生までを対象に、花と緑と水を題材とした写生画を募集し、優秀な作品を表彰しています。

令和6年度は11校から302作品の応募があり、金賞・銀賞・銅賞の受賞者は次のとおりです。（各賞は順不同）

金賞



「駒里三兄弟」
駒里小
高見 優馬 さん

【講評】学校にそびえる3本の木を見上げる構図で描いています。緑の諧調が美しく、木の葉からのぞく空も効果的です。まっすぐ伸びた幹も力強く表現されて自信と希望がみなぎっています。



学校の授業で一番かっこいいと思った3本の木を描きました。日光があたった緑の葉と、日陰になっている緑の葉との1枚1枚の色のちがいを意識して描いたので時間がかかりましたが、受賞できてとても嬉しいです。

銀賞



「自慢の花壇」
緑小

吉岡 優里奈 さん

【講評】花壇の一つひとつの花に寄せる作者の気持ちがよく表れています。花の色の配置や葉の構成などもバランスがよく、葉の厚みや花の存在感が生きているもののパワーを感じさせます。



「赤い花と校舎」

高台小
青木 琉斗 さん

【講評】まっすぐな道が校舎へと続く様子は遠近感があり広がりを感じられます。道路や校舎など無機質なものはがっしりと、花などの有機物は柔らかく描くことで、両者の対比が際立っています。

銅賞



「ゆうしょうした花」
北進小
藤井 絆 さん



「くさのなかに広がるチューリップと子鳥」
北栄小
伊藤 真莉菜 さん



「『げんき』の意味」
北栄小
湊 こはる さん



「校舎」
末広小
中屋 結菜 さん



「緑小の花だん」
緑小
亀田 舞奈 さん



「夏の山線鉄橋」
支笏湖小
松澤 花歩 さん



「夜の森」
日の出小
田中 麻陽 さん



「いろいろな色のチューリップと大きな木」
日の出小
山本 葉月 さん



「いろいろなピンクのお花」
日の出小
渡邊 琉 さん



「校舎と花」
高台小
西川 花凜 さん



「私の学校と花だん」
高台小
久元 千春 さん



「学校といっぱいのお花」
向陽台小
石橋 花乃 さん



「学校の花壇」
向陽台小
田中 晴真 さん



「ヒマワリ畑」
泉沢小
岡本 柚子葉 さん



「おばあちゃんの庭のユリ」
みどり台小
上東 陽菜乃 さん



「かぼちゃ」
北進小
向井 陽仁 さん



「みんなのひまわり」
支笏湖小
板谷 優月 さん



令和7年度も、皆さまからの多数の作品のご応募をお待ちしております！
作品募集の詳細は広報ちとせ等でお知らせします。



令和7年度 都市緑化振興事業の紹介

No.	事業名	事業内容	開催時期
1	花と緑のフェスタ	花苗等の購入割引券、花苗プレゼント、花苗等安価販売など	5月
2	花いっぱいコンクール	町内会・学校・福祉施設・事業所などに花苗等を配布し、審査	4月に募集
3	花と緑の絵コンクール	小学生高学年を対象に、花・緑・水の写生画を募集し、審査	7月～9月に募集
4	花と緑の写真コンテスト	花や緑に親しむ様子や、庭や公園の草花の写真を募集し、審査	7月～9月に募集
5	緑の相談	庭木や家庭菜園の管理などについてお困りごと相談（予約制）	4月～10月毎月最終火曜日
6	園芸教室 ※	プリザーブドフラワーや寄せ植え作りなどの教室	11月・12月・令和8年1月
7	花と野菜の学校 ※	親子で楽しむ花や野菜の育て方、ハロウィンのランタン作りなど	6月・10月
8	ガーデニング講習会 ※	バラや宿根草の育て方、庭づくりなどの講習	令和8年3月
9	花と緑の講演会 ※	ガーデニングなどに関する講演	令和8年2月
10	緑化リーダー研修	地域における緑化リーダーを育成するための研修	4月に募集
11	花めぐり見学会（バスツアー）	市内のオープンガーデン、フラワーロードなどをバスに乗って見学	6月・7月
12	ちとせオープンガーデン	ガイドブックを片手に個人庭園を訪ね歩き、庭主と交流	6月～9月
13	青葉公園自然観察・体験会 ※	青葉公園の樹木や草花などを観察し自然の大切さを学ぶ	8月
14	巨木をめぐるウォークラリー	青葉公園内の巨木を見つけ、樹木プレートのキーワードを記入する	6月～9月
15	メモリアルツリープレゼント	人生の節目となる慶事を迎えた市民に、苗木や鉢植えをプレゼント	4月に募集
16	植樹会に係る苗木の提供	サクラの植栽を希望する町内会、学校などに苗木を無償提供	5月～6月に募集
17	樹木名板の提供	樹木名板取付を希望する町内会、学校などに名板を無償提供	5月～6月に募集
18	フラワーポット貸出事業	事業者や商店街を対象に、フラワーポットを無料貸出	5月～6月に募集
19	樹木再利用の情報提供	庭木や鉢植えを手放す方からの情報を提供	庭木:4月～10月、鉢物:通年で募集
20	広報誌「花水木」発行	都市緑化振興事業の情報を掲載した広報誌を発行	令和8年3月発行
21	ポスター・カレンダー発行	コンクールやコンテストのポスターやカレンダーを発行	8月～12月発行
22	各種コンクールの受賞作品展示会	各種コンクール、コンテストの受賞作品を展示	8月～12月

※は「ちとせを学ぶスタンプラリー」（主催：みんなで、ひと・まちづくり委員会 事務局：千歳市教育委員会教育部生涯学習課生涯学習推進係）の連携講座です。上記の都市緑化振興事業について、内容の変更、延期または中止をすることがあります。

「水と緑のふれあい基金」のお知らせ

水と緑のふれあい基金は、皆さまからのご寄付を積み立て、「植樹会に係る苗木の提供」「フラワーポット貸出」「緑化リーダー研修」「カレンダー発行」等の事業を実施しています。

皆さまからのご寄付をお待ちしています。

【令和6年度にご寄付いただいた皆さま】

- 自治労千歳市職員労働組合 様
- 陸上自衛隊東千歳駐屯地 様
- 千歳市環境整備事業協同組合 様
- 陸上自衛隊北千歳駐屯地 様
- 航空自衛隊千歳基地 様

その他匿名でご寄付いただきました。ありがとうございます。

緑化リーダー研修

令和5年度から内容を充実させるため、座学及び見学を主としていた研修にフィールドワーク研修を加え、実際に花壇を植栽する体験型6回連続講座として開催しています。

11名の参加者は、札幌国際大学の園芸ボランティア団体「花と緑のEGG」の方々との情報交換や、千歳市の緑の環境や新しい植栽技術であるナチュラルスティックガーデンについて学びました。令和7年5月には、昨年に引き続き、財団前花壇に宿根草などを植栽します。

新年度も、“花や緑に興味があり緑化ボランティアに参加してみたい方”、“すでに緑化振興に係るボランティアに参加している方”を対象に、年間6回の連続講座すべてに参加可能な市民の皆さまを募集します。

詳細は、広報ちとせや財団ホームページにてご案内いたします。



北広島市 ポールパークFビレッジにて



植栽実習の様子



グループワークの様子

